

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成26年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を、皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、平成26年度上半期（平成26年4月1日から9月30日まで）の予算の執行や財産の状況と平成25年度の決算状況について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成 26 年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、平成 26 年 9 月 30 日現在で記載しています。

1 平成26年度上半期の補正予算の概要

上半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

平成26年9月30日までに一般会計予算の補正はありませんでした。

(2) 後期高齢者医療特別会計

平成26年9月30日までに後期高齢者医療特別会計予算の補正はありませんでした。

●上半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
分担金及び負担金	914,904	914,904
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
財産収入	204	204
繰入金	140,000	140,000
繰越金	1	1
諸収入	332	332
合 計	1,055,441	1,055,441

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
議会費	1,913	1,913
総務費	283,007	283,007
民生費	765,358	765,358
公債費	163	163
予備費	5,000	5,000
合 計	1,055,441	1,055,441

●上半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
市町支出金	61,442,539	61,442,539
市町保険料等負担金	(31,702,442)	(31,702,442)
国庫支出金	127,241,592	127,241,592
県支出金	32,473,577	32,473,577
支払基金交付金	158,347,318	158,347,318
特別高額医療費共同事業交付金	56,360	56,360
財産収入	1,957	1,957
繰入金	2,801,586	2,801,586
繰越金	1	1
県財政安定化基金借入金	1	1
諸収入	335,808	335,808
合 計	382,700,739	382,700,739

※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
総務費	767,172	767,172
保険給付費	379,007,108	379,007,108
県財政安定化基金拠出金	170,072	170,072
特別高額医療費共同事業拠出金	85,069	85,069
保健事業費	322,548	322,548
基金積立金	2,279,761	2,279,761
公債費	3,247	3,247
諸支出金	40,762	40,762
予備費	25,000	25,000
合 計	382,700,739	382,700,739

2 平成26年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（平成26年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

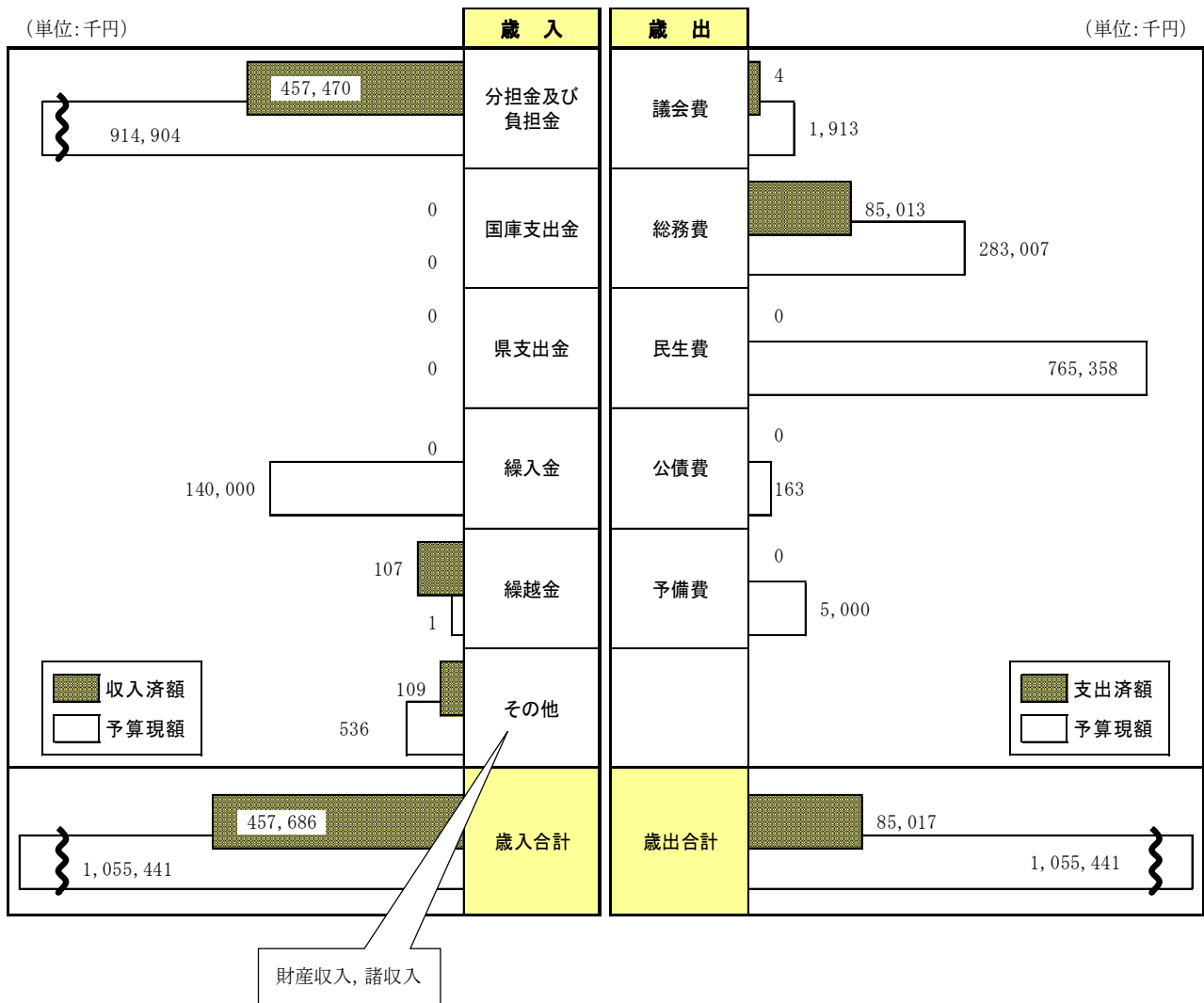
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	914,904	457,470	50.0%
国庫支出金	0	0	-
県支出金	0	0	-
財産収入	204	22	10.8%
繰入金	140,000	0	0.0%
繰越金	1	107	10,700.0%
諸収入	332	87	26.2%
合 計	1,055,441	457,686	43.4%

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,913	4	0.2%
総務費	283,007	85,013	30.0%
民生費	765,358	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,055,441	85,017	8.1%

グラフ「平成26年度一般会計予算の執行状況（平成26年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（平成26年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	61,442,539	26,751,207	43.5%
市町保険料等負担金※	(31,702,442)	(11,881,005)	(37.5%)
国庫支出金	127,241,592	75,762,635	59.5%
県支出金	32,473,577	20,688,767	63.7%
支払基金交付金	158,347,318	67,021,535	42.3%
特別高額医療費 共同事業交付金	56,360	0	0.0%
財産収入	1,957	38	1.9%
繰入金	2,801,586	2,036,228	72.7%
繰越金	1	6,891,900	689,190,000.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	335,808	400,654	119.3%
合 計	382,700,739	199,552,964	52.1%

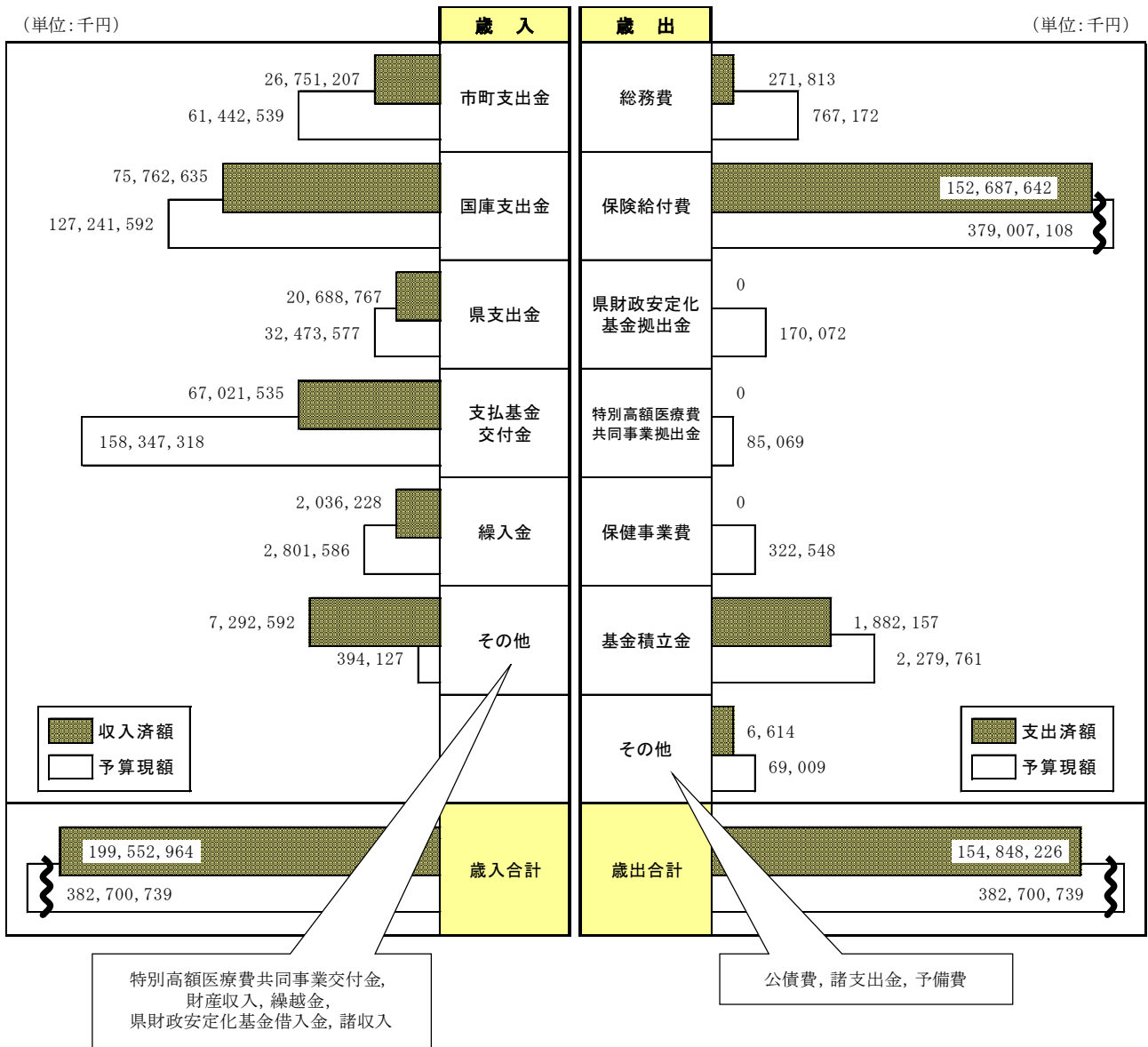
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	767,172	271,813	35.4%
保険給付費	379,007,108	152,687,642	40.3%
県財政安定化 基金拠出金	170,072	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	85,069	0	0.0%
保健事業費	322,548	0	0.0%
基金積立金	2,279,761	1,882,157	82.6%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	40,762	6,614	16.2%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	382,700,739	154,848,226	40.5%

グラフ「平成26年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成26年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

平成26年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	3	財務会計システム1式, 広域連合システム DB サーバ関連機器1式, 広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	314,915,979	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	210,301,166	被用者保険の被扶養者であった被保険者の保険料激変緩和措置等の財源補てんのための基金
後期高齢者医療給付 準備基金	6,362,019,868	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

平成26年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

平成26年9月30日現在において、借入れはありません。

5 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

平成26年4月1日から平成26年9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	4,465,743	151,348	4,745,622	9,362,713
呉市	1,398,625	41,210	1,647,600	3,087,435
竹原市	173,431	7,064	231,294	411,789
三原市	550,335	18,564	715,410	1,284,309
尾道市	904,869	26,978	1,022,436	1,954,283
福山市	1,859,920	67,064	2,160,756	4,087,740
府中市	247,123	9,414	273,390	529,927
三次市	334,963	12,414	465,702	813,079
庄原市	270,058	10,556	390,948	671,562
大竹市	157,606	6,636	194,160	358,402
東広島市	648,850	25,134	766,926	1,440,910
廿日市市	551,547	18,528	608,118	1,178,193
安芸高田市	197,177	8,032	242,538	447,747
江田島市	186,237	7,178	259,836	453,251
府中町	225,087	8,490	225,564	459,141
海田町	107,222	5,494	112,038	224,754
熊野町	125,801	5,506	119,694	251,001
坂町	69,312	3,962	86,442	159,716
安芸太田町	58,936	3,784	97,290	160,010
北広島町	116,795	5,966	171,300	294,061
大崎上島町	69,813	3,908	89,550	163,271
世羅町	113,955	5,654	141,414	261,023
神石高原町	77,506	4,586	102,174	184,266
合計	12,910,911	457,470	14,870,202	28,238,583

※保険料等負担金には、平成25年度の納付額(1,029,906千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	医療費が著しく低い町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の国庫負担金（※平成25年度で特例措置は終了）
県支出金	医療費が著しく低い町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の県負担金（※平成25年度で特例措置は終了）
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、臨時特例基金、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費(国・県・広域連合の負担率各1/3)
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金、給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成25年度広域連合の決算の状況

1 平成25年度の事業

平成25年度、広域連合では平成24年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成25年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（674,822千円）、派遣職員の給料等負担金（226,540千円）、不均一賦課の実施に伴う保険料軽減相当分の特別会計への繰出金（6,338千円）等となっています。

●平成25年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（356,132,970千円）、市町が行う健康診査事業及び長寿・健康増進事業に対する補助（288,299千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（266,517千円）、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品差額通知、重複・頻回受診者訪問指導等の医療費適正化対策事業（155,968千円）等となっています。

2 平成25年度一般会計の決算状況

歳入決算額	9億5,558万2,279円
歳出決算額	9億5,547万5,279円
歳入歳出差引額	10万7,000円

この差引額は、平成25年度の剰余金として平成26年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成25年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の96.2%を占め、次いで前年度からの繰入金が3.0%となっています。

前年度と比較すると、合計で72,795千円(8.2%)の増となっておりますが、これは主に、構成市町からの負担金が80,091千円(9.5%)増額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	919,742	919,742	100.0%	96.2%	839,651	80,091	9.5%
国庫支出金	3,800	3,512	92.4%	0.4%	3,338	174	5.2%
県支出金	3,458	3,169	91.6%	0.3%	3,224	△55	△1.7%
財産収入	296	295	99.7%	0.0%	355	△60	△16.9%
繰入金	101,152	28,558	28.2%	3.0%	35,655	△7,097	△19.9%
繰越金	1	0	0.0%	0.0%	221	△221	△100.0%
諸収入	328	306	93.3%	0.0%	343	△37	△10.8%
合計	1,028,777	955,582	92.9%	100.0%	882,787	72,795	8.2%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成25年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が71.3%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の28.6%となっています。

前年度と比較すると、特別会計事務費繰出金等の民生費73,975千円(12.2%)の増を中心に、合計で72,688千円(8.2%)の増となりました。

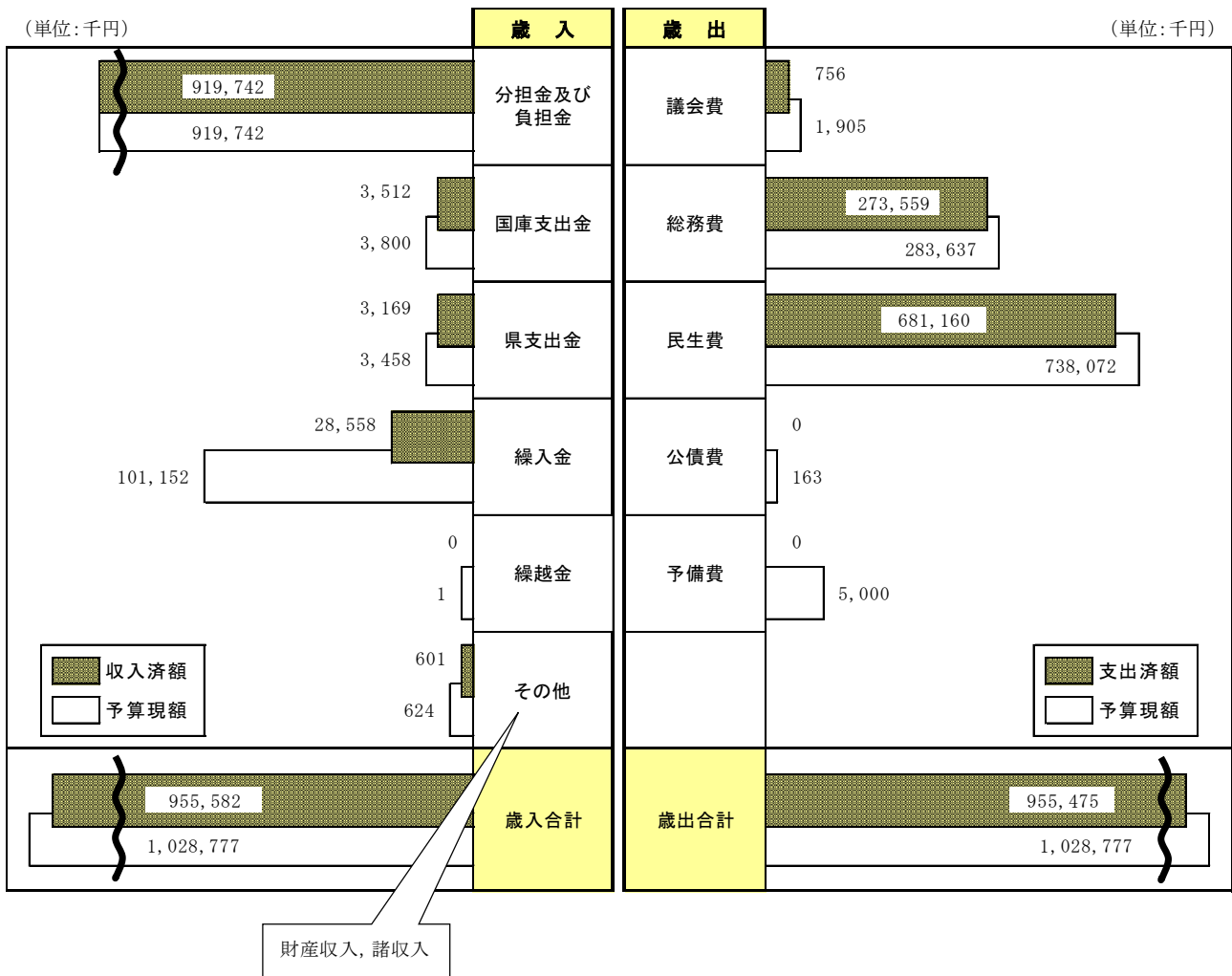
(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,905	756	39.7%	0.1%	828	△72	△8.7%
総務費	283,637	273,559	96.4%	28.6%	274,774	△1,215	△0.4%
民生費	738,072	681,160	92.3%	71.3%	607,185	73,975	12.2%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,028,777	955,475	92.9%	100.0%	882,787	72,688	8.2%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成25年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 平成25年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	3,692億5,538万2,832円
歳出決算額	3,623億6,348万2,549円
歳入歳出差引額	68億9,190万283円

この差引額は、平成25年度の剰余金として平成26年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成25年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の40.8%を占め、次いで国庫支出金が33.2%、市町支出金が15.8%、県支出金が8.3%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	62,208,776	58,410,191	93.9%	15.8%	56,880,936	1,529,255	2.7%
市町保険料等負担金	(31,736,010)	(30,297,959)	(95.5%)	(8.2%)	(29,633,866)	(664,093)	(2.2%)
国庫支出金	127,635,135	122,478,132	96.0%	33.2%	117,163,240	5,314,892	4.5%
県支出金	31,616,176	30,605,968	96.8%	8.3%	32,115,799	△ 1,509,831	△4.7%
支払基金交付金	158,945,470	150,606,740	94.8%	40.8%	148,070,589	2,536,151	1.7%
特別高額医療費 共同事業交付金	50,665	63,671	125.7%	0.0%	59,558	4,113	6.9%
財産収入	3,026	3,026	100.0%	0.0%	1,268	1,758	138.6%
繰入金	6,431,765	2,605,095	40.5%	0.7%	2,515,194	89,901	3.6%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%
諸収入	413,098	422,700	102.3%	0.1%	392,925	29,775	7.6%
繰越金	4,059,859	4,059,860	100.0%	1.1%	456	4,059,404	890,220.2%
合計	391,363,971	369,255,383	94.4%	100.0%	357,199,965	12,055,418	3.4%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成25年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の98.3%と歳出総額のほとんどを占め、次いで基金積立金が0.8%となっています。

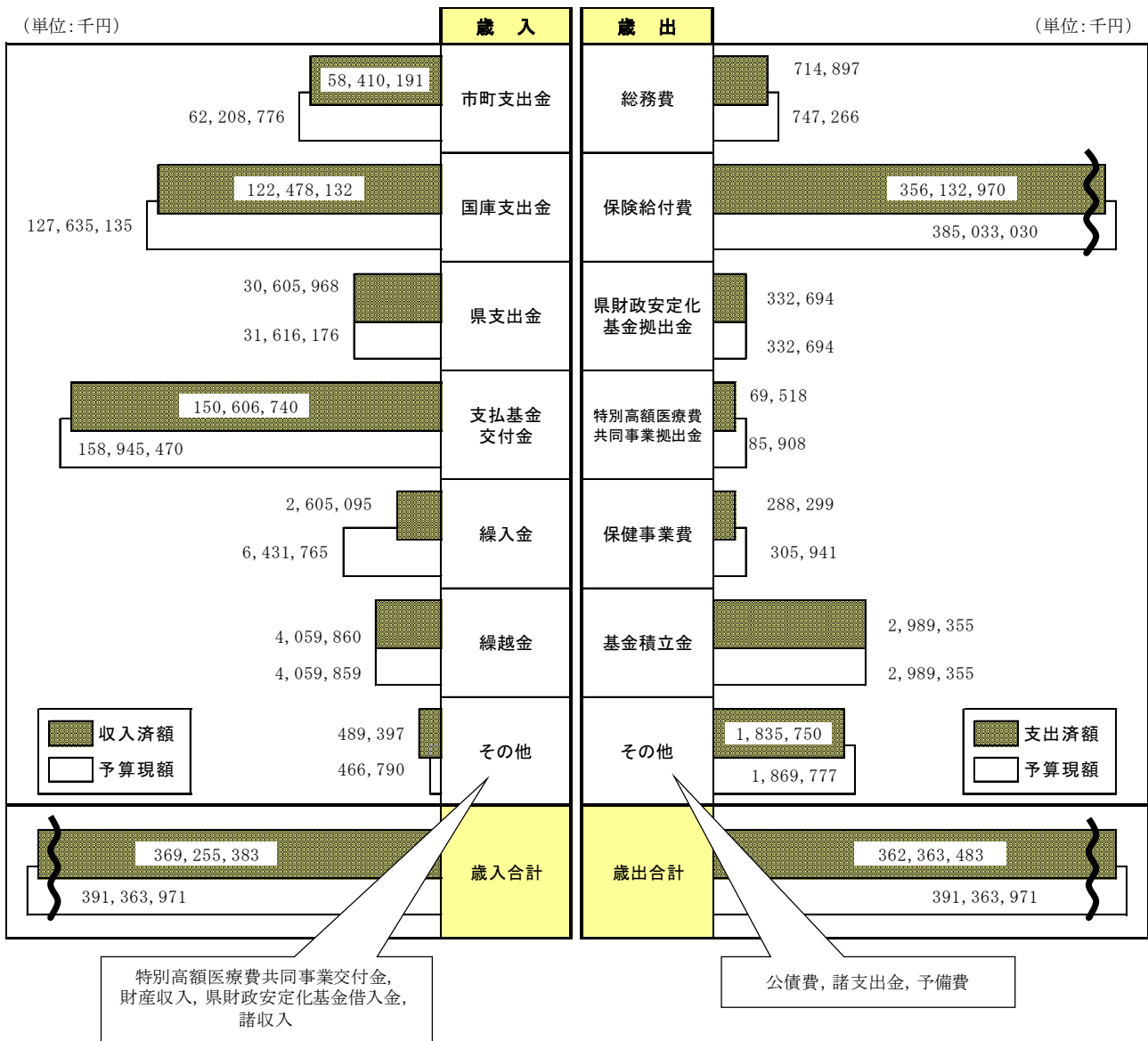
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	747,266	714,897	95.7%	0.2%	651,688	63,209	9.7%
保険給付費	385,033,030	356,132,970	92.5%	98.3%	347,641,397	8,491,573	2.4%
県財政安定化 基金拠出金	332,694	332,694	100.0%	0.1%	332,694	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	85,908	69,518	80.9%	0.0%	72,707	△3,189	△4.4%
保健事業費	305,941	288,299	94.2%	0.1%	274,372	13,927	5.1%
基金積立金	2,989,355	2,989,355	100.0%	0.8%	3,104,092	△114,737	△3.7%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	1,841,530	1,835,750	99.7%	0.5%	1,063,155	772,595	72.7%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	391,363,971	362,363,483	92.6%	100.0%	353,140,105	9,223,378	2.6%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。